

1 60分でできる 実践活動検討

～事例からつながりを考える～

このコーナーでは、毎号皆さんに身近な事例を掲載しています。第5号では、とある地区民児協の定例会での出来事をご覧になったうえで、皆さんの活動のあり方などを話し合ってみましょう。

なお、登場人物及びストーリーは、事例検討のために設定した架空のものです。

登場人物

とある地区民児協物語

- ①鈴木会長（男性）
- ②小林副会長（女性）
- ③高橋委員（女性）…中堅委員
- ④山本委員（男性）…新任委員

ここは、ひだまり町。昨年12月1日の一斉改選、委嘱状交付式を無事に終えた後、新年度（平成26年度）を迎えたばかりのひだまり町民児協。今日は4月の定例会が開かれようとしていました。

ひだまり町では、今回の一斉改選で会長と副会長が交替し、新任の委員も加入するなど、これまでと違った雰囲気の中で、定例会が進んでいきました。

鈴木会長 では、今月の定例会を始めたいと思います。皆さんどうぞよろしく。

一同 よろしくお願ひします！

鈴木会長 小林副会長さん、進行をお願いします。

小林(副) はい……。でも、司会進行は何度やっても緊張しますね（苦笑）

鈴木会長 ははは。ベテランともいえる小林副会長さんらしくないですね。

小林(副) 今期から副会長という重責を担うと思うと、定例会の司会をするのにも、いろいろ考えてしまっ……。

鈴木会長 まあ、気楽にまいりましょう。“みんなで楽しく活動しよう！”が私のモットーですからね（笑）

議題1

ひだまり町要援護者実態調査の実施について

小林(副) え～では、今日の1つ目の議題は「ひだまり町要援護者実態調査の実施について」です。

ひだまり町役場から、平成26年度を迎え、町内の要援護者に関する実態を把握するにあたり、調査の協力依頼がきました。お手元の資料がその調査票です。

実施方法は従来通りです。特段変更点もありませんので、よろしくお願いします。何かご質問などありませんか？

山本委員 初めてなのでお尋ねしますが、この調査はわれわれ民児協として、どのような位置づけで協力しているのですか？

(右頁に続く)